

# 広島県立総合体育館大型映像・電気設備等撤去工事 特記仕様書

## 1 適用範囲

本仕様書は、広島県が実施する「広島県立総合体育館大型映像・電気設備等撤去工事」に適用する。

## 2 工事概要

### (1) 工事名称

広島県立総合体育館大型映像・電気設備等撤去工事

### (2) 工事場所

広島県立総合体育館大アリーナ（広島市中区基町 4-1）

### (3) 工期

契約締結日の翌日から令和7年3月31日まで

※ ただし、大アリーナ施設は令和7年1月7日から令和7年3月31日までは利用停止としているため、その間に施工すること。

### (4) 工事内容

ア 大型映像装置設備、電気設備（ケーブル類）及び吊りワイヤーロープの撤去

※撤去箇所の詳細は、別添図面のとおり

イ 撤去に伴い発生した廃材の処理

### (5) 撤去作業範囲

	項目	数量・単位
大型映像装置 (重量約 3,000 kg)	映像装置菅パネル（画面サイズ W4,670×H3,500）	4 面
	筐体鉄骨フレーム（映像放電管パネル支持材）	1 式
	化粧パネル	1 式
	背面扉・デッキ類	1 式
	内部配線材	1 式
	フレーム吊り金具	4 式
吊物設備関係	吊りワイヤーロープ（φ20mm）、一部滑車含む	1 式
電源ケーブル	分電盤～大型映像装置間 ※撤去及び端末処理	55m
信号ケーブル	中継端子盤～大型映像装置間 ※撤去及び端末処理	50m

## 3 共通事項

- (1) 施工に先立ち施工計画書を提出すること。
- (2) 現場代理人及び主任技術者等指名届を提出すること。
- (3) 安全設備を状況に応じて設置すること。撤去材搬出、材料搬入時などにおいて安全管理を怠らないようにし、状況に応じて警備員を配置すること。
- (4) 疑義・問題が生じた場合は、速やかに県に協議すること。
- (5) 本工事において発生した廃棄物等は、すべて受注者において適切に処分すること。
- (6) 工事完了後は、完成通知書を速やかに提出し、検査を受けること。検査により修補を求められた場合には、速やかに修補を行い、修補完了通知書提出後再検査を受けること。
- (7) 本仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工

事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）最新版」によること。また、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」及び標準図によること。

(8) 本仕様書及び各共通仕様書に定めのない事項は、県に協議すること。

#### 4 提出書類

工事完了後、完成図書、工事写真を2部提出すること。

また、契約約款に基づく書類も提出すること。

#### 5 特記仕様

##### (1) 付随作業

ア 吊物機構制御盤（2階天井内）電源遮断等

大型映像昇降押釦を誤って操作しても動作しないよう処置を行うこと。

イ 大型映像装置電源遮断

大型映像装置の2階分電盤及び2階電気室幹線番号B1～B6の電源を遮断すること。

ウ 吊物機構ワイヤー撤去

大型映像装置撤去後、吊りワイヤーロープ及び一部滑車の撤去を行うこと。

エ 炎感知器移設

大型映像装置下端に設置してある消防用設備（炎感知器1個）の移設を行うこと。本設備は消防法施行令第32条（基準の特例）により設けられた設備であることから、移設にあたっては消防署等と協議を行い、必要な届け出を行うこと。また、移設の際は誤報等ないよう適切に処置を行うこと。

##### (2) 搬入出作業・資材置場

ア 作業にあたっては、B1F サービスヤードを利用することができる。

イ 作業にあたっては、重量物搬出に耐えうる床養生及び侵入防止策（コーンバー等）を講じること。（県立総合体育館大アリーナ床面荷重：3.8t/m<sup>2</sup>）

##### (3) 撤去作業

ア 作業にあたって、足場を設置する場合は、方杖による転倒防止策及びアリーナ床面を保護する処置を行うこと。なお、養生シートは県から支給することができる。

イ 作業にあたっては、装置本体においても転倒防止策を講じ、また、撤去作業にあたってはバランスも考慮し作業を行うこと。

ウ 撤去機材の一時保管場所として、サービスヤードを利用することができる。

エ 中継端子盤及び分電盤内の図面の修正を行うこと。

オ 撤去に伴い停電が必要な場合は、事前に計画書を提出し承諾を得ること。

##### (4) 本工事施工中に予定されている他工事は次のとおりである

ア 県立総合体育館大アリーナ LED 照明設備改修工事（令和7年1月～4月）

イ 大アリーナ観客席スイート部分改修工事（令和7年1月～3月）

ウ 県立総合体育館昇降機設備1・2号更新工事（令和5年6月～令和7年3月）

エ ア・イは大アリーナ工事、ウは本館工事が施工される予定であるため、綿密に打合せ、工程調整などを行い安全面に配慮し互いの施工の支障にならないようにすること。

#### 6 その他（参考）

既存設備のメーカーは次のとおり。

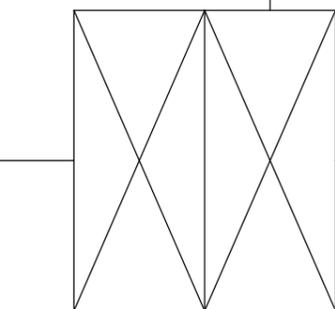
ア 大型映像装置：パナソニックEWエンジニアリング株式会社（現会社名）

イ 吊物設備：三精テクノロジー株式会社（現会社名）

RS盤 (火災信号)

R1K-T-B

電源・EDアース  
(B2階電気室)



吊物制御盤 吊物制御盤  
(3階天井内)

施工範囲：赤線  
詳細は図面番号A-4参照

参考

- ①既設大型映像装置設置メーカー  
パナソニックEWエンジニアリング(株) (現在の会社名)
- ②既設吊物装置設置メーカー  
三精テクノロジーズ(株) (現在の会社名)

映像調整室から

電源・EDアース  
(3階電気室)  
幹線番号B1~B6  
(3φ200V)

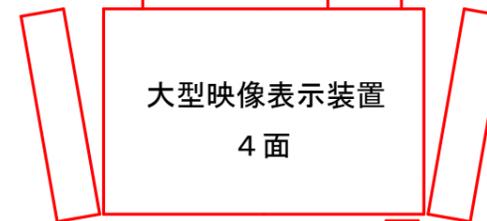
3階天井内

吊物機構  
モータ

ケーブルリール  
(電源)

ケーブルリール  
(信号)

(ワイヤロープφ20mm)



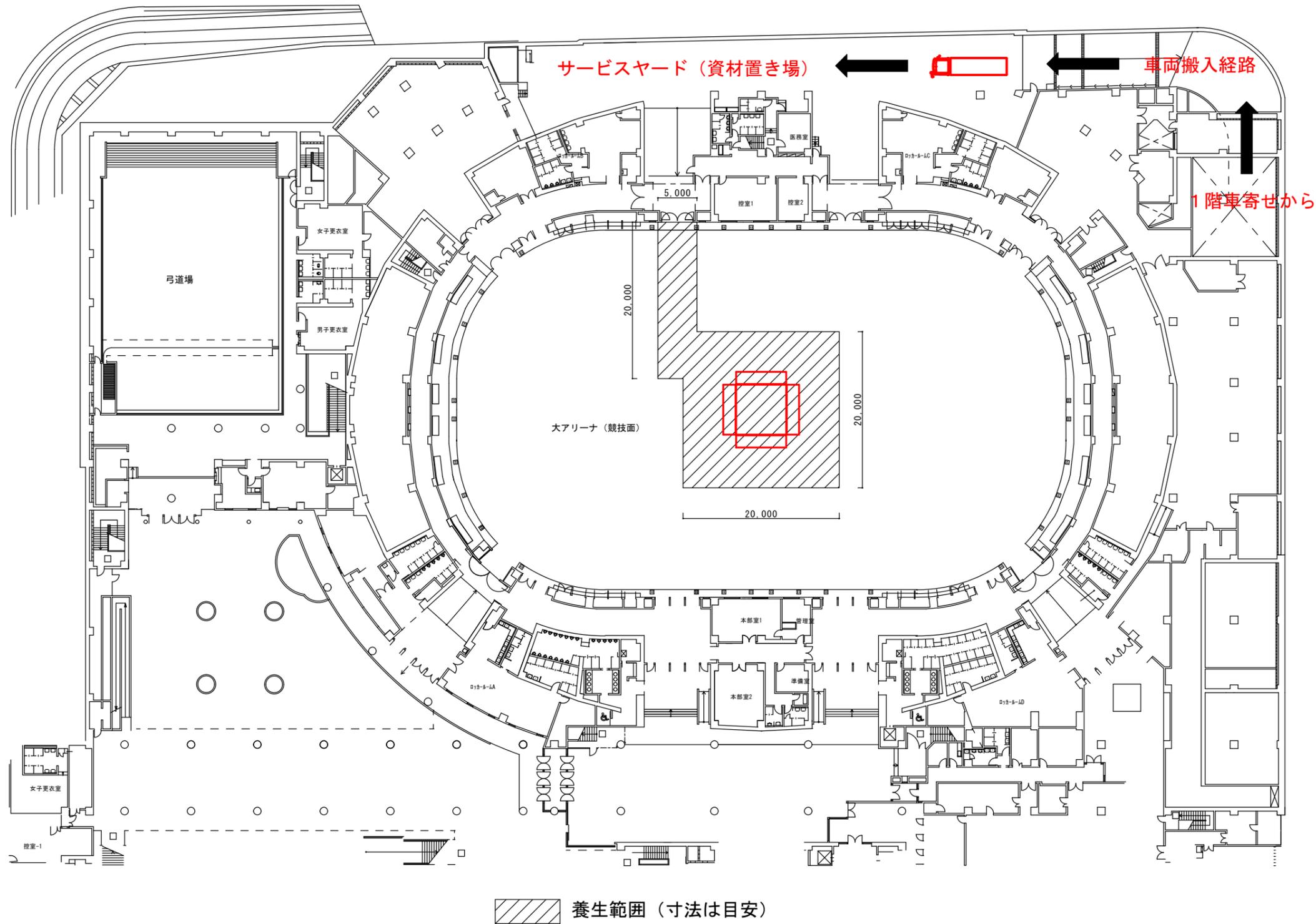
大型映像表示装置  
4面

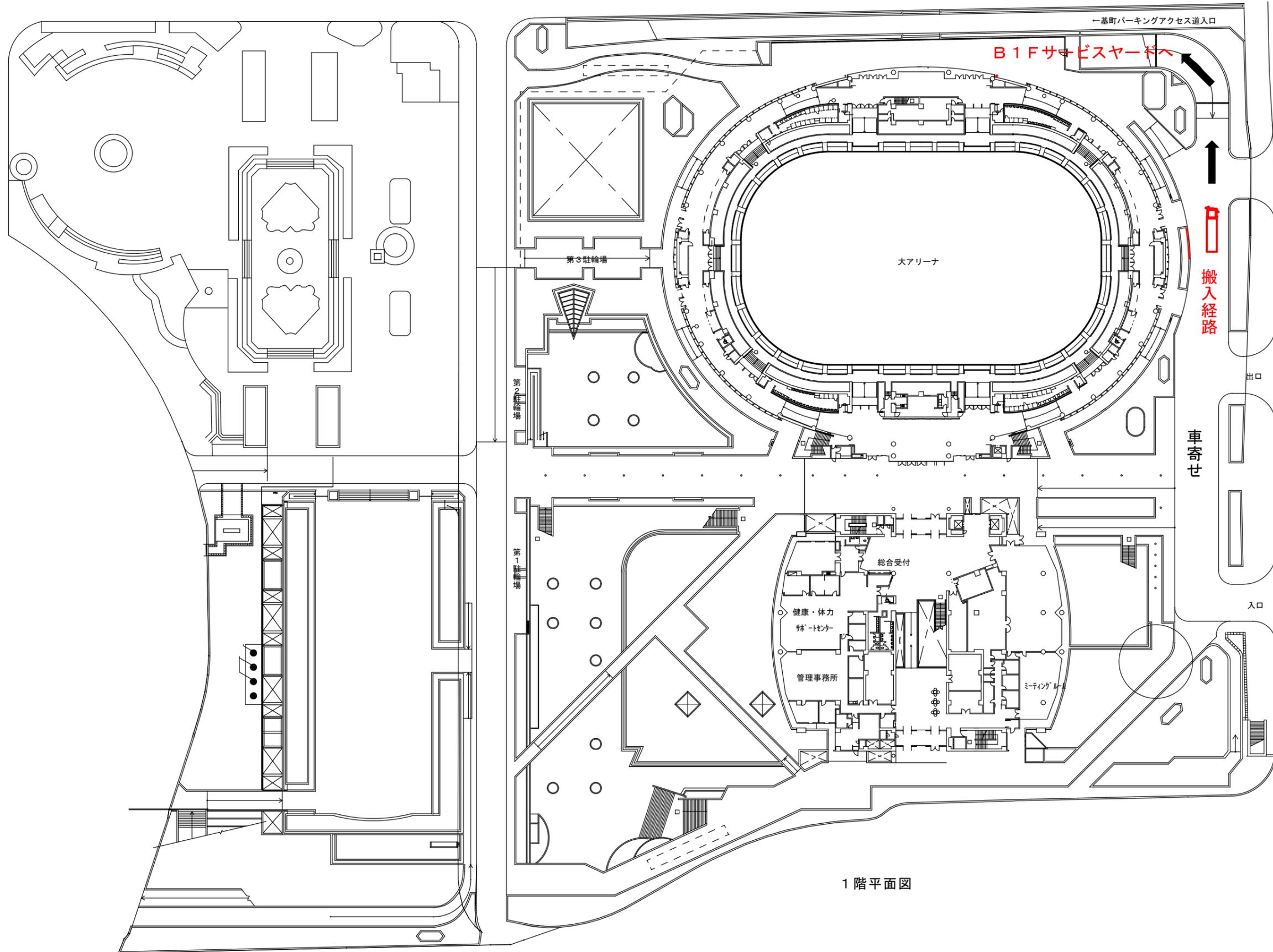
炎感知器移設

F

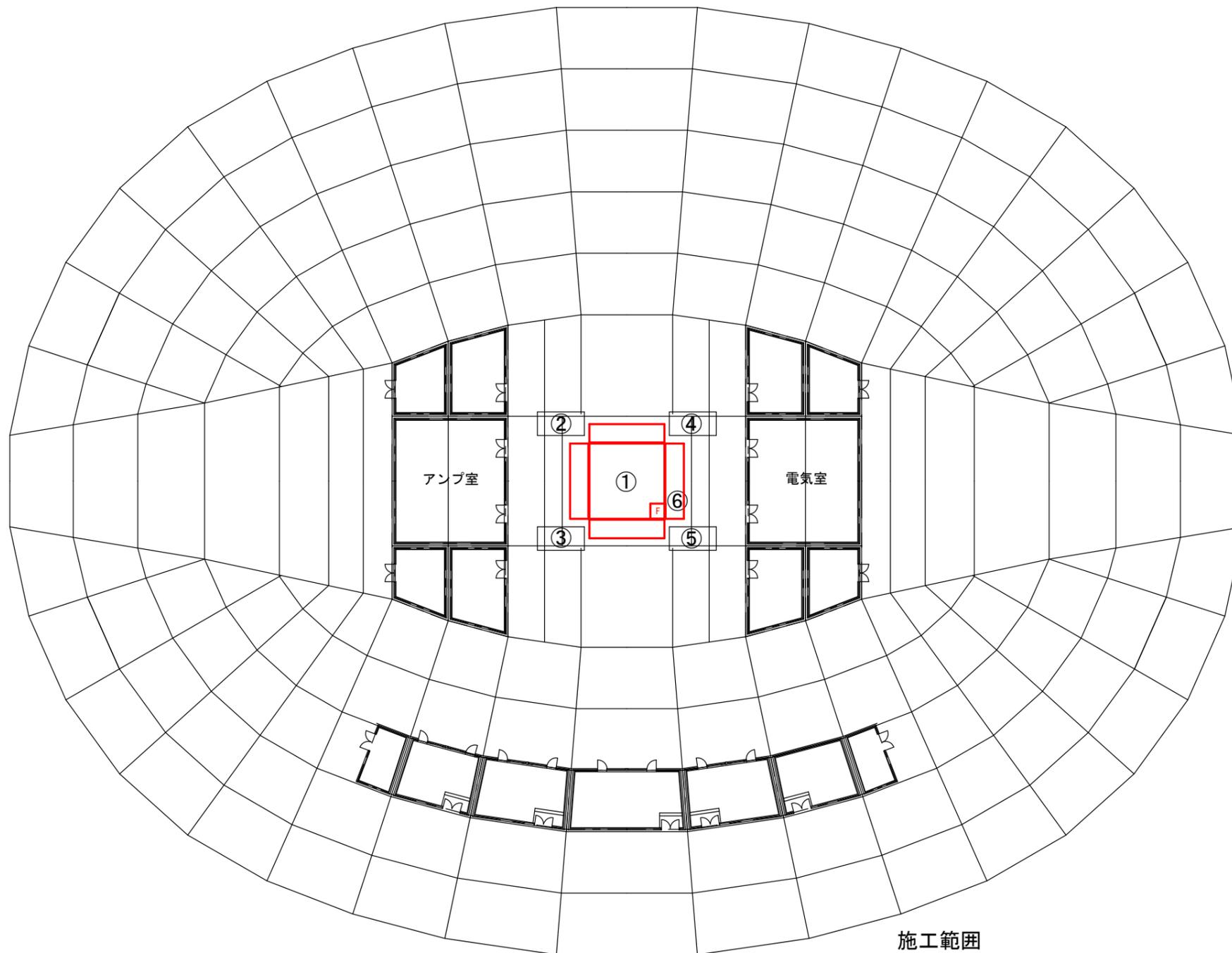
中継端子盤

分電盤



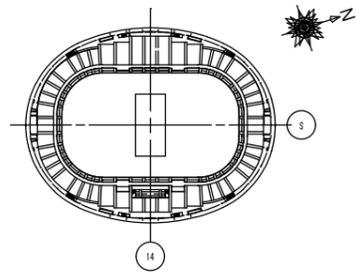
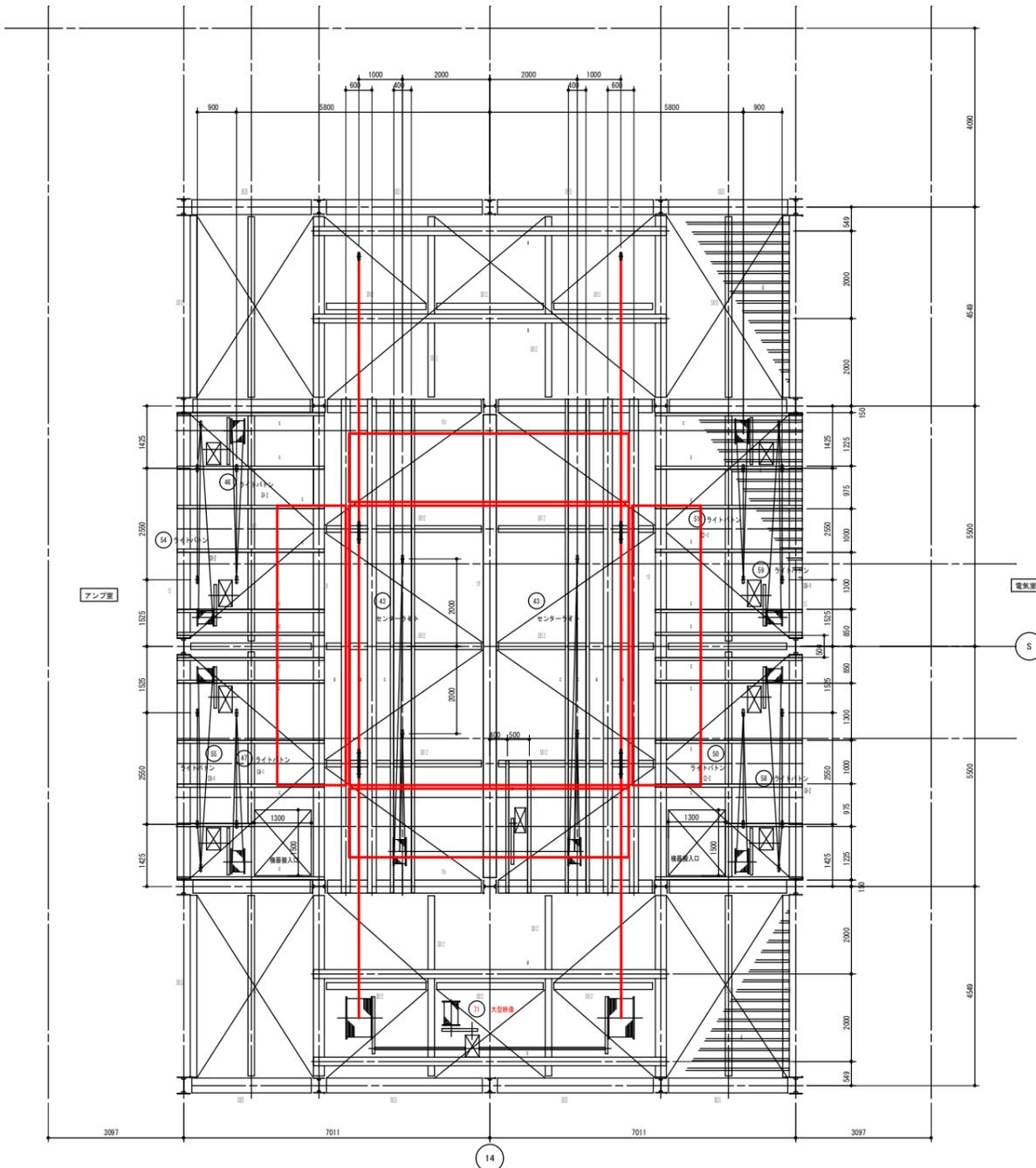


1階平面図



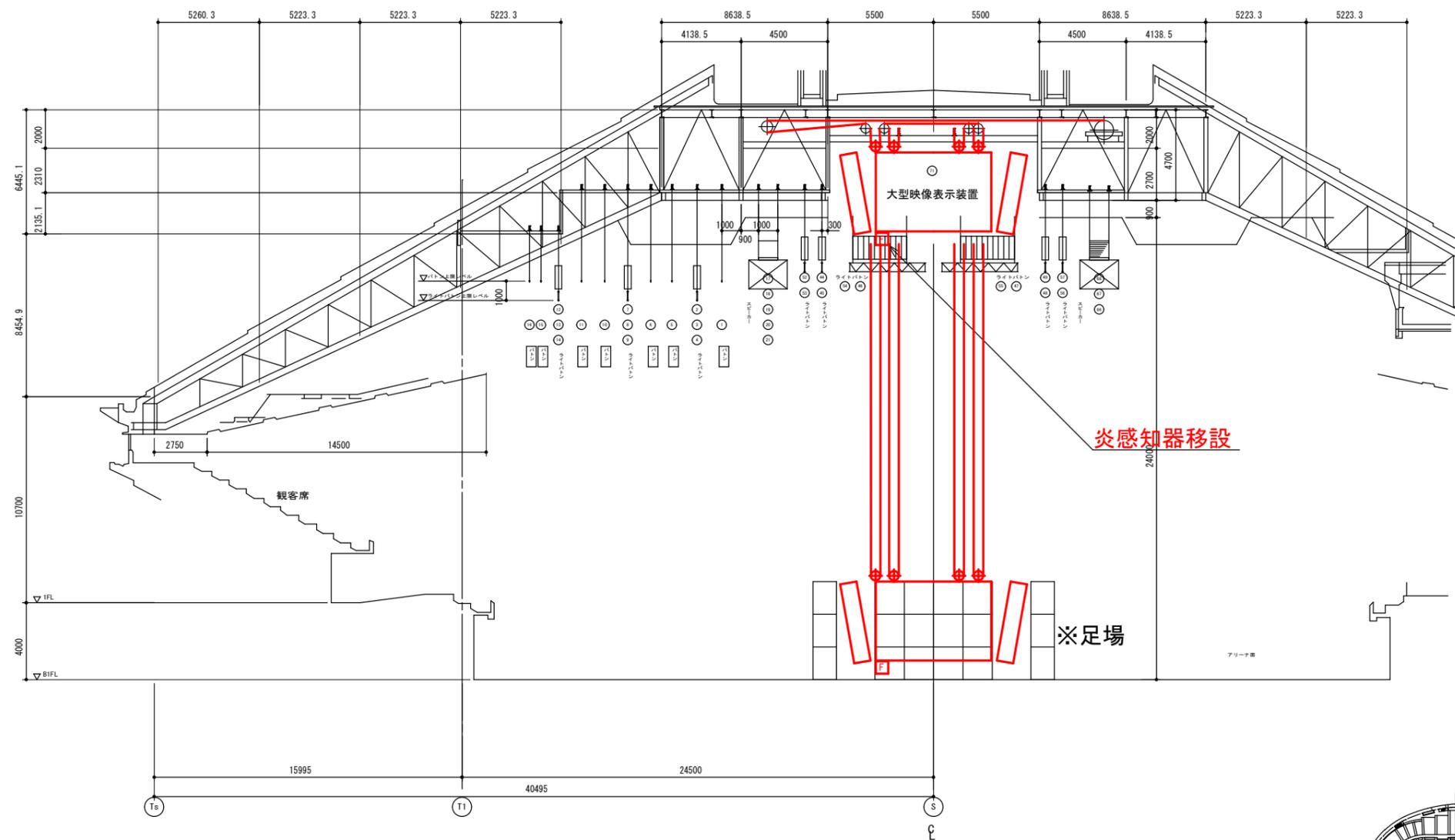
施工範囲

- ①大型映像表示装置（装置・吊りワイヤー撤去）
- ②ケーブルリール（電源ケーブル撤去）
- ③ケーブルリール（信号ケーブル撤去）
- ④中継端子盤（信号ケーブル撤去・端末処理）
- ⑤大型映像装置分電盤（電源ケーブル撤去・端末処理）
- ⑥炎感知器移設（消防との協議、届出含む）



施工範囲：赤線  
 詳細は図面番号A-4参照

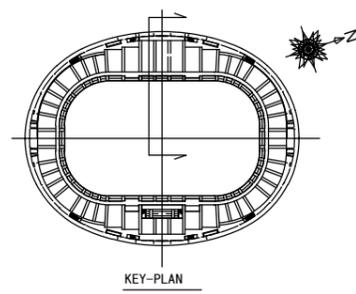
広島県地域政策局 スポーツ推進課	工事名 広島県立総合体育館 大型映像・電気設備等撤去工事	3階ぶどう棚平面図	図面番号 A-5
------------------	------------------------------	-----------	----------

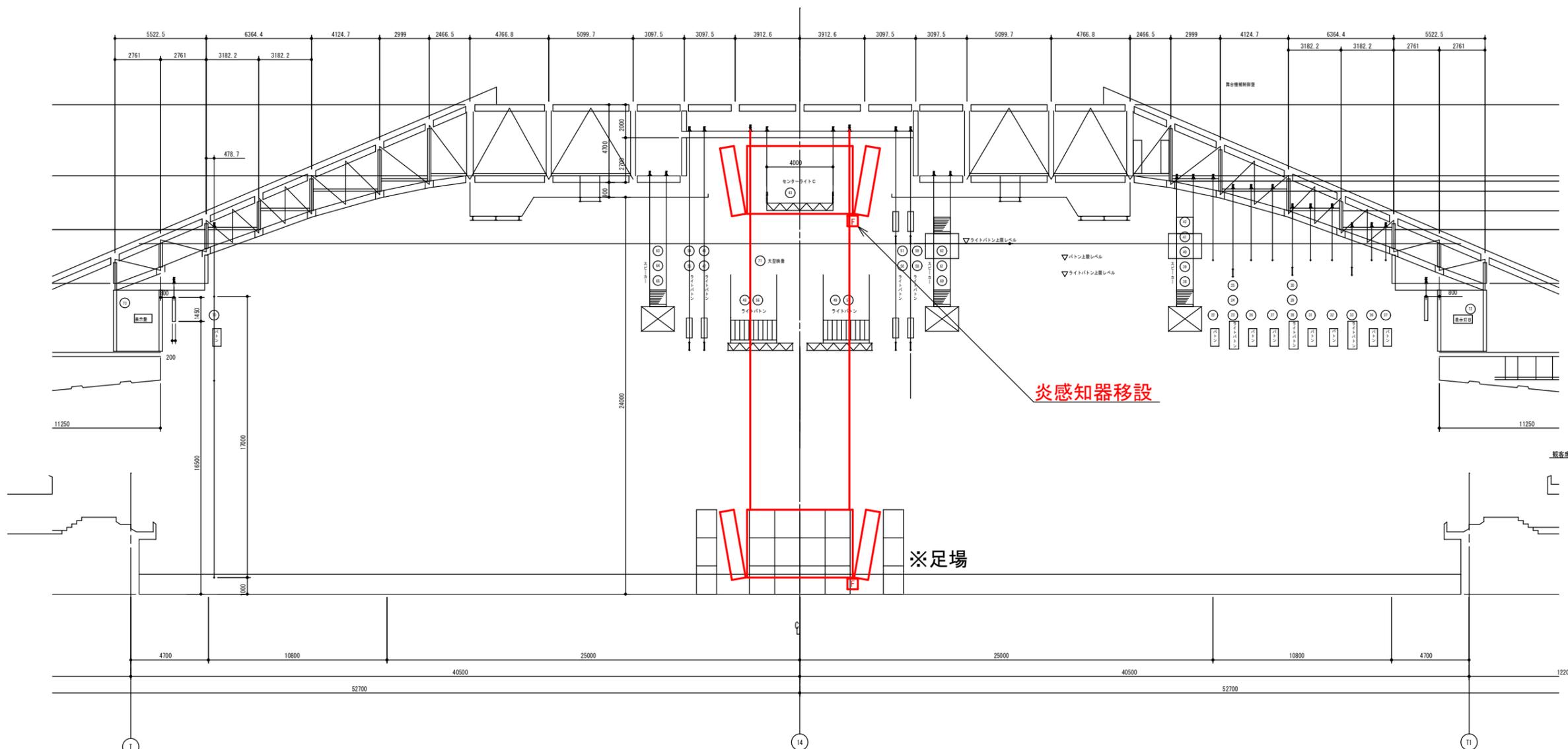


※足場（桝組足場1200幅、3段×4スパンを見込む。）

施工範囲：赤線

詳細は図面番号A-4参照





施工範囲：赤線

詳細は図面番号A-4参照

※足場（枠組足場1200幅、3段×4スパンを見込む。）

工事数量総括表

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額
A	直接工事費					
1	仮設費					
	通路養生	養生シート+コンパネ21mm	35.0	m		
	作業床	養生シート+コンパネ21mm	400.0	m <sup>2</sup>		
	足場	枠組足場W1200 3段×4スパン	4.0	面		
	同上昇降階段	防災シート	1.0	ヶ所		
	転倒防止対策費	方杖	4.0	ヶ所		
	仮設材運搬費	※場内小運搬共	1.0	式		
	揚重機損料		1.0	式		
	片付清掃		1.0	式		
	仕上げクリーニング		1.0	式		
	撤去土台		4.0	式		
	仮設資材費		1.0	式		
	撤去費		1.0	式		
	仮設費 計					
2	解体・撤去費					
	筐体内既設機器撤去		4.0	式		
	既設モジュール撤去	16.7m <sup>2</sup> /面	4.0	面		
	同上モジュールベース撤去	16.7m <sup>2</sup> /面	4.0	面		
	筐体パネル撤去	54.9m <sup>2</sup> /面	4.0	面		
	パンチングメタルパネル撤去	4.22t	4.0	面		
	筐体鉄骨軸組撤去		4.0	式		
	信号ケーブル撤去		4.0	式		
	機械器具損料	巻き上げ機・揚重機	4.0	式		
	撤去材処分費・運搬費	※場内小運搬費を含む	1.0	式		
	配線類端末処理		1.0	式		
	吊滑車・ワイヤーロープ撤去特殊作業		1.0	式		
	解体・撤去費 計					
3	消防用設備移設費	炎感知器1個移設	1.0	式		
A	直接工事費 計					
B	共通仮設費		1.0	式		
	純工事費 計					
C	現場管理費		1.0	式		
	工事原価 計					
	一般管理費		1.0	式		
	工事価格 計					
	消費税等相当額	10%				
	本工事費 計					